

事業目的

次世代医薬品の進化を阻む大きな壁の一つが、「分離・精製」である。抗体、エクソソーム、核酸医薬では、精製工程の遅さや高コストが開発・製造のボトルネックとなっている。

独自の多孔質材料「スポンジモノリス(SPM)」により、この常識を変える。低圧・高速・高耐久で、多様なバイオ医薬品に対応する新たな分離基盤を構築し、医薬品開発の迅速化と製造コスト低減を実現する。

事業内容

SPMの実用化に向け、細孔サイズや表面機能の最適化を進め、EV、ウイルスベクター、細胞など次世代モダリティに対応する分離性能の高度化を図る。同時に、国内外のバイオ医薬・CDMO企業への情報発信、ヒアリング、パイロット提案を通じてSPMの認知拡大と市場ニーズの検証を進める。

さらに、共同研究先、実装企業、事業開発人材との連携を強化し、グローバル展開を見据えた事業化パートナーシップを構築する。

事業成果

事業者情報

作成/更新: 2026年9月

SPM株式会社
(京大・京都府大発スタートアップ)

所在地: 京都府向日市

設立年: 2026年

HP: <https://spm-kyoto.com/>



概要図等

